

RI第2560地区分割決定のいきさつ

去る1999年6月香港で行われたRI理事会に於いてかねて申請中の第2560地区再編成について群馬県をRI第2840地区、新潟県をRI第2560地区として分割することが決定致しました。

長い間の懸案であっただけに、地区としても安堵の思いです。

いろいろないきさつを整理して、皆様ご理解し易いように、2つの文書を掲出しました。

(1) RI第2560地区の分割についての特別なお願い

RI第2560地区としては、地区再編成申請書は、正規なルートと日程で提出してあり、アナハイムにおける地区再編成会議にて検討されると承知しております。しかしながら、RI2560地区としては分割が許可されないと危機的状況に陥ると思われまます。その特殊事情を下記しますので、検討時の資料にして頂きたいことをお願い申し上げます。

1. RI第2560地区は、クラブ数においては日本最大の地区である。

当地区では、1998-99年度より、既に地区リーダーシッププランを導入しており、その効果は出ておりますが、何せ97クラブであり、1クラブ単位での公式訪問が各クラブの要請でありますので、地区としての活性化のための様々な問題に取り組むには時間が不足してまいります。

また過去には、そのハードスケジュール故にガバナーを終えられると病気になるということが数例ありました。

現に、1997-98年度の久保田パストガバナーは任期途中で入院され、年度を終えられるとすぐに亡くなりました。いわばロータリーに殉死されたと言えると思います。従って、今後ガバナーになる方を当地区で選出するのが、難しい状況になりつつあります。

2. RC第2560地区の分割の条件について

RI第2560地区は、現在97クラブ(3月認証状取得予定のクラブ含む)で、その内訳は群馬43、新潟54クラブであります。また会員数は5,325名で群馬が2,671名、新潟2,654名であります。クラブ数では、群馬側は、分割基準を満たしておりませんが、申請書にある通り基準を満たすべく、新クラブ設立を次々と予定しております。さらに特筆すべきは、基準の人数(1,800人)に関してははるかに両県とも上回っております。また、会員数が多い県がクラブ数の基準を下回っているという逆転現象も起きています。従って当地区の分割に関しては、人数基準のみで判断を頂

くのが妥当であり、また各々が一つの地区としてすでに十分な条件を備えていると考えています。分割をすれば、両地区のガバナーの管理事務が大幅に軽減し、両地区の経済的理由も相まって、会員の増強、新クラブの結成にガバナーが大いに尽力することができ、結果として会員数を大幅に増加することができる他、その他のロータリー活動を通して、国際ロータリーへ大きな貢献ができると思います。

3. RI第2560地区の地理的条件

日本の行政単位である県という概念は、地理的条件も加味されたものであり、交通の便、文化圏を考えて区分けされています。従って、小県は例外ですが、本来は各県ごとの地区編成が自然といえます。また日本の第1ゾーンに、我が第2560地区は所属しておりますが、1地区2県に渡っているのは、当地区だけであります。他は1県1地区以上になっております。また、人口比で見ても群馬県、新潟県は上位にランクしております。従って両県それぞれの地区は、分割した場合にも地区運営に関する力量は充分にあると思います。

また、最初の交通の話に戻りますが、両県を結ぶのは、2本のトンネル(1本は新幹線、1本は高速道)のみであり、さらに両県とも日本で有数の面積と広さを持つ県であることも付記しておきます。

以上の点を特に考慮して頂き、是非分割の決定を頂きたいことをお願い申し上げます。

(ガバナー付記 本文は渡辺幹事により作成)

Districting Committee

3月2日(火) 7:30 AM 於 Rido (4F)
ANAHEIM HILTON

出席者

Committee側

委員長 Neville F. Hackett (England)

委員 Lynmar Brock, Jr. (USA)

Edgar D. Gifford (USA)

連絡責任者 James Peter Chin (Taiwan)

RID2560側 高木